

洛和会音羽病院

地域連携ニユース

6

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <https://www.rakuwa.or.jp/otowa/>

2024 June

より緊密な連携へ リフレッシュ

 洛和会音羽病院 消化器内科・内視鏡センター センター長
 病院長特別顧問（消化器内科担当）兼務

 いいぬま しょうじ
飯沼 昌二

専門分野

消化器病一般

専門医認定・資格など

 日本内科学会認定内科医／総合内科専門医
 日本消化器病学会専門医／指導医
 日本消化器内視鏡学会専門医／指導医
 日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化管学会胃腸科専門医
 臨床研修指導医、日本医師会認定産業医、医学博士


2024年4月1日、洛和会音羽病院 消化器内科・内視鏡センターに着任しました。このたび、6年ぶりに山科へ戻ってまいりました。

当院では、私が以前に勤めていた期間も含め、常に内科と外科の間で緊密な協力関係が築かれてきました。これにより、患者さん一人一人の状態に合わせた診断・治療計画が可能となっております。今後もさらにその連携を強化し、より安全で、より有益な医療を提供してまいります。

また、山科・大津地域には私の学生時代や以前音羽病院に赴任していた時代から存じ

上げている開業医の先生方がたくさんおられますので、病診連携をさらに深め、入院や在宅においても、より迅速できめ細かい医療を受けていただけるように努めてまいります。

どうぞこれからも皆さまの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

Check!

消化器内科については
こちらからご覧ください!



重大疾患の
早期発見を
目指します!!

内視鏡システム「EVIS X1」、 多目的デジタルエックス線TVシステム 「Ultimax-i」のご紹介



新しい内視鏡で検査精度を高める「EVIS X1」

がんの中でも罹患数上位を占める胃や大腸といった消化器がんの早期発見には内視鏡検査が必須です。2020年5月に発売された内視鏡システム「EVIS X1」は5つのLEDを使い、良好な色再現性とコントラストを実現。さらに、3種類の特殊光を使い分けることで、以下のように特定疾患を見つけ、病変の見落としの減少が期待できます。

用途の違う特殊光を使用

▶ TXI (構造色彩強調機能)

独自の画像処理技術を使って、小さな病変の早期観察に貢献します。表面のこぼこが見やすく、胃癌などが見つけやすいです。

▶ NBI (狭帯域光観察)

紫や緑の特殊な光を使い、わずかな変化を見やすくして詳細な観察を助けます。毛細血管が見やすいので、細い血管の変化をとらえることにより胃がんの診断に役立ちます。

▶ RDI (赤色光観察)

血管や出血の様子が観察しやすくなり、より安全に内視鏡治療をサポート。消化管出血の出血点の同定に役立ちます。

内視鏡と併用できるエックス線装置「Ultimax-i」

当院に導入された多目的デジタルエックス線TVシステムで、現在の最上位モデルが「Ultimax-i」です。このモデルは放射線被ばくが少なく、従来と比較して65%低減されています。



撮影する部分がCアームになっており、患者さんがベッドに横になりながら上下左右に回転することで、安全に多方向からの観察ができます。また、大画面モニターで高画質な透視画像が得られ、細い膵管や胆管に対するERCP検査に高い効果を発揮します。「Ultimax-i」を用いると内視鏡が十二指腸を進み、さらに奥にある膵管・胆管の中にカテーテルを挿入する様子を撮影することができます。

多職種協働で
患者さんをサポートします



洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間 月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通

TEL 075 (593) 7725

FAX 075 (593) 4160

E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望
などございましたら
お申し付けください。

医療機関予約専用フリーダイヤル 0120 (607) 489